

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ (<http://www.ims.ac.jp/use/>) を参照いただきたいと思います。

平成25年度前期より欧米を含む海外からの参加者を含めることができる分子研研究会として、「アジア連携分子研研究会」と「岡崎コンファレンス」の中間的な位置づけの研究会である「ミニ国際シンポジウム」のカテゴリーを新たに設定し、公募を行ってきました。これまで、分子研研究会において海外からの参加者を含めることができるものとしては、この「ミニ国際シンポジウム」と「アジア連携分子研研究会」のみでしたが、平成26年度からはすべての種別の分子研研究会において、特別な場合（基調講演等で招聘する場合など）には1～3名の海外研究者を含むことができるようになりました（その予算は別枠申請となります。これまで原則的に国内旅費と滞在費のみの支給だった欧米からの参加者についても国外旅費を含めることが可能です）。これらの変更は、「岡崎コンファレンス」よりは、より気軽に国際シンポジウムを開催してもらえるようにと考えてのことです。是非、積極的にこれらを利用して頂きますよう、お願い致します。

共同研究の現状について、平成19年度から平成25年度分（平成25年12月5日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。平成25年度の協力研究の件数が、前年度までに比べて大きく減少していることが分かります。この理由の一つとしては、協力研究の枠組みではなく自前（所内研究者、あるいは共同研究者による）の予算で実施している共同研究が多いことが考えられます。調査の結果、平成25年度前期においては、約80件の共同研究が自前の予算で実施されていることが分かりました。今後はこのような見えない形の協力研究の把握も進め、共同研究の改善を図ってきたいと考えています。なお、協力研究は随時申請も受付けておりますので、是非、積極的に申請頂ければ幸いです。

共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種別	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (1月31日現在)
課題研究	2	2	1	0	1	1	2
協力研究	91	90	119	122	108	123	64
協力研究（ナノプラット）	—	—	—	—	—	—	41
分子研研究会	9	4	5	6	4	10	10
若手研究会等	—	1	1	1	1	1	1
岡崎コンファレンス	—	—	—	—	—	1	1
計	102	97	126	129	114	136	119

※ナノプラット（ナノテクノロジー・プラットフォーム事業）については、平成25年度から共同研究専門委員会が審査を行っています。

分子研研究会

※1月31日時点で実施済研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成25年8月2日～4日	最先端分光で切り拓く強相関電子系の未来 "IMS Workshop on Advanced Spectroscopy of Correlated Materials (ASCM 13)"	宮崎 秀俊（名古屋工業大学 若手研究イノベータ養成センター）	35名
平成25年10月3日～4日	光による分子性伝導体の電子相制御	山本 浩史（分子研）	26名
平成25年10月25日～26日	π 造形科学：複学理インテグレーションによる未来材料開拓	磯部 寛之（東北大学原子分子材料高等研究機構）	18名
平成25年11月18日～19日	ロドブシン研究の故きを温ねて新しきを知る	今元 泰（京都大学大学院理学研究科）	49名
平成25年11月25日～27日	日韓生体分子科学セミナー——実験とシミュレーション	加藤 晃一（分子研/岡崎統合バイオサイエンスセンター）	45名
平成25年12月18日～19日	先端スピン計測技術による分子性物質研究の現状と展望	太田 仁（神戸大学）	28名

若手研究会等

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成25年8月21日	第2回分子科学若手シンポジウム	村上 龍大（上智大学 大学院理工学研究科）	42名

岡崎コンファレンス

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成25年10月30日～11月2日	第73回岡崎コンファレンス "Coherent and Incoherent Wave Packet Dynamics"	大森 賢治（分子研）	56名